



（代表取締役社長 保元道宣）

代表取締役社長の保元です。本日は大変お忙しい中、当社の決算説明会にご参加いただきましてありがとうございます。冒頭私より2025年度第1四半期の連結実績ハイライトにつきまして、パワーポイント資料をベースにご説明をいたします。

5ページ目をご覧くださいと思います。

オンワードグループのミッションステートメント

ホ シ
ヒトと地球に潤いと彩りを

「社員の多様な個性をいかしたお客さま中心の経営」により
地球と共生する「潤いと彩り」のある生活づくりに貢献する

『生活文化創造企業』として前に進み続ける



01	連結実績および連結業績予想ハイライト	P4
02	2025年度 第1四半期 連結実績	P8
03	2025年度 上期・通期 連結業績予想	P12
04	Appendix	P15



01

連結実績および連結業績予想
ハイライト

2025年度 第1四半期 連結実績ハイライト

—ONWARD—



※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費等

- 第1四半期期間の売上高は、前年同期比で17.1%増収の602億円となった。『アンフィーロ』(+49.1%増収)、『KASHIYAMA』(+24.5%増収)、『チャコット・コスメティクス』(+41.3%増収)等の戦略強化ブランドが、商品ラインナップの強化や新規出店の加速等により、売上高の拡大を牽引した。昨年秋に連結したウィゴー事業も、マーケティングの精度向上等により順調に進捗し、大幅増収に寄与した。
- 営業利益は5.5%増益の54億円となった。在庫管理の徹底等により、粗利益率が57.0%と0.3%改善した。社員の賃金アップ等の人的資本投資や、新たなDX関連投資の強化等により、経費率が48.1%と1.2%上昇したが、3億円の営業増益を確保した。
- 当期純利益は6.3%増益の43億円で着地した。為替差損の増加があったものの、事業構造改革等に伴う特別損失が縮小した。EBITDAは6.9%増の67億円となった。

第1四半期の決算につきましては、おかげさまで増収。営業利益を含む全段階利益で増益の形で着地できました。この四半期、3月の立ち上がりから非常に気温の低い日が多く、寒い春となりました。春の訪れが遅くなりまして、立ち上がり非常に厳しい状況でございました。また、景況感につきましても、特に4月の初めの米国の関税政策に関わる報道が非常に増えてまいりまして、非常に厳しめの四半期だったと認識をしております。

このような環境のもとではございましたけれども、後ほどご説明いたします、いくつかの戦略強化ブランドが大きく売上を伸ばしました。これがグループ全体でも、増収増益に繋がったと考えております。主な戦略強化ブランドの実績につきまして6ページをご参照いただければと思います。

UNFILO

1Q増収率（前年同期比） **+49.1%**

新たな機能美商品の投入とデジタル販促を軸とした
攻めの施策により、購買客数増。

U N F I L O
ア ン フ ィ ー ロ



KASHIYAMA

1Q増収率（前年同期比） **+24.5%**

予約獲得、ブランドの認知度向上の2軸を目的とした
デジタルプロモーションを実施することで、新規・既存
顧客が大幅増。

KASHIYAMA



WEGO

1Q増収額 **+80億円**

※前年3Qより連結の為、
前年1Q実績なし

SNSを活用したお客様ニーズの分
析により、最先端のカルチャーを
発信し続けることで売上拡大。

WEGO
YOUR FAN



CHACOTT COSMETICS

1Q増収率（前年同期比） **+41.3%**

パレエ事業で培った確かな品質を背景に、定番ラスティ
ングベースや季節限定品「クールシリーズ」が好調に推
移し、売上を拡大。

Chacott
COSMETICS



まず、「オンワード樫山」の『アンフィーロ』でございます。前期も大きく伸ばしておりますけれども、機能性とファッション性を両立させる機能美商品の開発と、デジタル販促を軸とした顧客の拡大、これをこの1Qも継続することができました。49.1%の大幅な増収となっております。売上の半分がEC、残りの半分がショッピングセンター（SC）を中心とするリアル販路となっております。今後、2Q以降も暑い夏が長びくことが予想される中で、『アンフィーロ』のブランド事業は成長が期待をされるところでございます。

続きまして「オンワードパーソナルスタイル」が展開しております『KASHIYAMA』でございます。新しいファクトリーとカスタマー（お客様）をダイレクトに結ぶことで、高品質と短納期、リーズナブルプライスで人気が上がっております。学生を含む若年層、あるいは女性に向けたオーダーメイドスーツのご提供という新しいビジネス領域の開発に取り組んでおります。1Qは24.5%の増収となりました。横浜や京都に新しい路面店を開設いたしました。全方位での流通で幅広い顧客の獲得を目指しておりますが、計画通り推移をしております。

続きまして「チャコット」の『チャコット・コスメティックス』でございます。元々パレエ用品を中心に創業75年を迎える老舗でございますが、パレエ事業で培った、この汗をかいても落ちにくいという特性を持ったコスメ商品の開発にここ数年注力し、ヒット商品が次々に出てきているという状況でございます。流通はSC、EC、ドラッグストア等も含めまして、幅広い販路で拡大に努めております。1Qは41.3%の大幅増収となりました。このペースでまいりますと来期には創業のパレエ事業を抜く基幹事業となることが期待をされておりますが、まずはこの1Qは好スタートを切れたと考えております。

それから最後に昨年の10月に連結子会社化をいたしました「ウィゴー」でございます。これは昨年の1Qの実績がございませんので、約80億円の増収という形になっております。昨年1Qの実績、連結前でございますが、それと比較しても約6%の増収を実現できました。現在、様々な改革を進めているところでございまして、特にオンラインストアがまだ比率が非常に低く、2割程度しかないということで、今年1年かけましてオンラインストアのプラットフォームの整備に努めております。リアル店舗を中心に大幅な増収も実現しており、非常に今、手応えを感じているところでございまして、これもSCとECを両軸に、顧客層の拡大を図っていききたいと、今後考えております。

以上の4つの戦略強化ブランドを中心に、商品ラインナップの強化、新規出店の加速等によりまして、売上高17.1%の大幅増収を実現しております。

2025年度 第1四半期 連結実績ハイライト

—ONWARD—

売上高	営業利益	当期純利益	EBITDA*
602 億円	54 億円	43 億円	67 億円
前年同期比 +17.1% +88億円	前年同期比 +5.5% +3億円	前年同期比 +6.3% +3億円	前年同期比 +6.9% +4億円

※ EBITDA = 営業利益 + 減価償却費等

- 第1四半期期間の売上高は、前年同期比で17.1%増収の602億円となった。『アンフィーロ』（+49.1%増収）、『KASHIYAMA』（+24.5%増収）、『チャコット・コスメティクス』（+41.3%増収）等の戦略強化ブランドが、商品ラインナップの強化や新規出店の加速等により、売上高の拡大を牽引した。昨秋に連結したウィゴー事業も、マーケティングの精度向上等により順調に進捗し、大幅増収に寄与した。
- 営業利益は5.5%増益の54億円となった。在庫管理の徹底等により、粗利益率が57.0%と0.3%改善した。社員の賃金アップ等の人的資本投資や、新たなDX関連投資の強化等により、経費率が48.1%と1.2%上昇したが、3億円の営業増益を確保した。
- 当期純利益は6.3%増益の43億円で着地した。為替差損の増加があったものの、事業構造改革等に伴う特別損失が縮小した。EBITDAは6.9%増の67億円となった。

続きまして利益面でございますが、営業利益につきまして5ページ目に戻りますけれども、5.5%増益の54億円となっております。昨年度は利益率を落としましたけれども、在庫管理の徹底等によりまして今回は0.3%改善し、粗利益率がグループ連結で57%という形になっております。経費率の面では、社員の賃金アップ等の人的資本投資、新たなDX関連投資、新規の出店投資もございますが、経費率は1.2%上昇して48.1%となっております。これは広告宣伝投資、あるいは物流関連等も、コストアップとなっておりますが、この経費率のアップを飲み込んで、3億円の営業増益を確保いたしております。増収と粗利益率の改善ということで、経費率アップを飲み込んだ形でございます。当期純利益につきましては、6.3%増益の43億円で着地をいたしました。為替差損の増加等がございましたが、特損が大幅に縮小しております。昨年度まで数年間事業構造改革などに伴う特損に大きなものがございましたが、この1Qにおいては極小化ができたという形でございます。またEBITDAにつきましては6.9%増の67億円で着地をいたしております。

以上が1Qの連結実績のハイライトです。

2025年度 上期・通期 連結業績予想ハイライト

—ONWARD—

	売上高	営業利益	当期純利益	EBITDA
上期	1,104 億円 前年同期比 +16.1% +153億円	57 億円 前年同期比 +8.5% +4億円	45 億円 前年同期比 +9.5% +4億円	85 億円 前年同期比 +10.5% +8億円
通期	2,300 億円 前期比 +10.4% +216億円	115 億円 前期比 +13.3% +13億円	100 億円 前期比 +17.4% +15億円	170 億円 前期比 +10.0% +15億円

- 第2四半期期間において、夏季の長期化等に対応した商品施策や販売施策を強化すること等により、上期の売上高は、前年同期比で16.1%増収の1,104億円、営業利益は8.5%増益の57億円、当期純利益は9.5%増益の45億円、EBITDAは10.5%増の85億円を予想する。
- 通期の売上高は、前期比で10.4%増収の2,300億円、営業利益は13.3%増益の115億円、当期純利益は17.4%増益の100億円、EBITDAは10.0%増の170億円を予想する。「2026年度に当期純利益100億円以上」との中期経営計画の目標を、1年前倒しで達成する見通し。

次に7ページをご覧ください。上期通期の連結業績予想のハイライトでございます。これは、基本的に春に公表させていただいた数字をそのまま維持をしている状況でございます。2Qも既にスタートしておりますが、6月も特に後半、酷暑日が続いております。夏の訪れが昨年以上に早まっているわけですが、こうした夏季の長期化に対応した商品戦略、あるいは販売戦略、販促戦略は昨年から準備を進めてきております。こうした成果を具現化しながら、上期におきましては、売上高が16.1%増収の1,104億円。営業利益が8.5%増益の57億円。当期純利益で9.5%増益の45億円。EBITDAは10.5%増の85億円を予想しております。2Qは、しっかりこの計画を達成できるように、暑い夏と戦っていきたくと考えております。通期につきましても期初の計画通りでございまして、売上高が10.4%増収の2,300億円。営業利益が13.3%増益の115億円。当期純利益で17.4%増益の100億円。EBITDAが10%増益の170億円を予想しております。とりわけ中期経営計画で、2026年度に当期純利益100億円以上という目標を掲げておりますが、この目標を1年前倒しで達成できるように、まず2Q、下期についてもしっかり対応していきたいと、このように考えております。

私からのご説明は以上でございます。



自由区

02

2025年度 第1四半期
連結実績

2025年度 第1四半期 連結実績



- 『アンフィーロ』、『KASHIYAMA』、『チャコット・コスメティクス』等ブランド事業の好調やウィゴ-事業の連結等により、売上高は前年同期比17.1%増収の602億円となった。また、社員の賃金アップ等の人的資本投資や、新たなDX関連投資の強化等により、経費率が1.2%上昇したが、在庫管理の徹底等により粗利益率が0.3%上昇したことから、営業利益は5.5%増益の54億円となった。
- 為替差損の拡大により経常利益は0.4%増益の52億円に留まったが、事業構造改革等に伴う特別損失が縮小したことから、当期純利益では6.3%増益の43億円となった。

(百万円)		1Q実績			
		2025年度	2024年度	増減額	増減率
1	売上高	60,158	51,376	+8,782	+17.1%
2	売上総利益	34,307	29,144	+5,163	+17.7%
	(対売上高比率)	(57.0%)	(56.7%)		(+0.3%)
3	販管費	28,954	24,070	+4,884	+20.3%
	(対売上高比率)	(48.1%)	(46.9%)		(+1.2%)
4	営業利益	5,353	5,074	+279	+5.5%
	(対売上高比率)	(8.9%)	(9.9%)		(Δ 1.0%)
5	経常利益	5,217	5,195	+22	+0.4%
	(対売上高比率)	(8.7%)	(10.1%)		(Δ 1.4%)
6	当期純利益	4,271	4,019	+252	+6.3%
	(対売上高比率)	(7.1%)	(7.8%)		(Δ 0.7%)
7	EBITDA ※	6,678	6,247	+431	+6.9%
	(対売上高比率)	(11.1%)	(12.2%)		(Δ 1.1%)

※ EBITDA = 営業利益+減価償却費等

Copyright © ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

(取締役 財務・経理・IR担当 吉田昌平)

財務経理IR担当の吉田でございます。よろしくお願いいたします。私からは9ページ第1四半期連結実績からご説明申し上げます。

売上高は602億円となり88億円、前年度比17.1%の増収。売上総利益率が前年同期比0.3%改善し、57%となり前年同期比で約52億円の増益が、販管費の約49億円の増加を飲み込み、営業利益としては3億円、5.5%の営業増益となりました。営業外損益につきましては、為替差損などの影響で前年同期比約2億円のマイナス影響要因があり、経常利益は前年同期並みとなりましたが、前年に発生した損失がなくなったため、当期純利益は前年同期比2.5億円、6.3%の増益となりました。EBITDAについても、営業利益と連動し前年同期比4億円、6.9%の増加となりました。

2025年度 第1四半期 主要事業会社別実績



		1Q実績			
(百万円)		2025年度	2024年度	増減額	増減率
1	オンワード樫山+HD	売上高 30,794	30,523	+271	+0.9%
		営業利益 3,098	3,387	△ 289	△ 8.5%
2	オンワード	売上高 2,410	1,935	+475	+24.5%
	パーソナルスタイル	営業利益 177	141	+36	+25.5%
3	ウィゴー	売上高 7,972	-	-	-
		営業利益 515	-	-	-
4	オンワード	売上高 5,396	5,201	+195	+3.7%
	コーポレートデザイン	営業利益 729	710	+19	+2.7%
5	チャコット	売上高 2,745	2,607	+138	+5.3%
		営業利益 389	290	+99	+34.1%
6	クリエイティブヨーコ	売上高 1,594	1,564	+30	+1.9%
		営業利益 178	172	+6	+3.5%
7	大和	売上高 5,996	5,356	+640	+11.9%
		営業利益 748	554	+194	+35.0%
8	国内グループ会社小計	売上高 28,754	19,433	+9,321	+48.0%
	(オンワード樫山+HD除く)	営業利益 2,882	2,173	+709	+32.6%
9	ヨーロッパ計	売上高 2,539	2,638	△ 99	△ 3.8%
		営業利益 △ 329	△ 313	△ 16	▲
10	アメリカ計	売上高 331	535	△ 204	△ 38.1%
		営業利益 △ 43	△ 62	+19	↗
11	アジア計	売上高 1,679	1,622	+57	+3.5%
		営業利益 43	11	+32	+290.9%
12	海外グループ会社小計	売上高 4,549	4,795	△ 246	△ 5.1%
		営業利益 △ 329	△ 364	+35	↗
13	連結合計	売上高 60,158	51,376	+8,782	+17.1%
		営業利益 5,353	5,074	+279	+5.5%

※グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

10ページ、第1四半期の主要事業会社別実績でございます。

「オンワード樫山」は主に『アンフィーロ』が好調で、流通としてはSC、ECが好調に売り上げを伸ばしましたが、社員の賃金アップ、DXまたは店舗投資などの強化により販管費が増加し、1Qとしては営業減益となりました。

「オンワードパーソナルスタイル」は、メンズ、ウィメンズのカスタマースーツを取り扱ってる会社でございます。1Qデジタルプロモーションに加え、ウィメンズについては1Qより新たに始めたタイアップ広告の効果が顕著にあり、新規集客が約40%増加、売上、営業利益ともに約25%の増収増益となりました。

「ウィゴー」は、前期10月から連結化しており、1Qは、前年実績のない増加要因となっております。売上高で約80億円、営業利益で約5億円の実績でした。

「オンワードコーポレートデザイン」はユニフォーム、オフィス、スクールなどの空間デザインなどを取り扱っており、企業の求めるニーズに対して、サステナブルまたはエンゲージメントといった付加価値の伴った案件提案により、新規案件獲得が進み、増収増益となりました。

「チャコット」は『チャコット・コスメティックス』が41.3%と大幅伸長し、増収増益となりました。

またペットキャラクターグッズの「クリエイティブヨーコ」社についても着実な出店、商品ラインナップの拡充により、増収増益となりました。

「大和」は子育て支援事業などの公共法人ビジネスや法人向け事業が伸長し、売上が11.9%の増収、営業利益については35%増益となりました。

海外につきましては、アメリカ計に前期末に売却いたしました、グアムのゴルフ事業の影響があり、売上高で約2億円の減収影響が含まれますが、営業利益としては、海外グループ会社小計で3,500万円の増益となりました。

2025年度 第1四半期

販路別売上高

ONWARD

■ リアル販路（百貨店+SC他）については、前年同期比で22.9%の増収となった。

■ ECについては17.5%の増収、EC化率は27.1%、自社EC比率は78.8%となった。

■ ウィゴーを除く販路別売上高は、リアル販路計+2.1%増収、EC計+6.0%増収、自社EC比率は84.4%となった。

(百万円)		①オンワード樺山				②国内EC対象事業会社8社				合計 (①+②)			
		2025年度	2024年度	増減額	増減率	2025年度	2024年度	増減額	増減率	2025年度	2024年度	増減額	増減率
1	百貨店	11,141	11,915	△774	△6.5%	3,094	2,801	+293	+10.5%	14,235	14,716	△481	△3.3%
	構成比	36.2%	39.0%	△2.9%		13.7%	20.8%	△7.1%		26.7%	33.5%	△6.8%	
2	SC他	11,093	10,393	+700	+6.7%	13,541	6,519	+7,022	+107.7%	24,634	16,912	+7,722	+45.7%
	構成比	36.0%	34.0%	+2.0%		60.0%	48.5%	+11.5%		46.2%	38.5%	+7.7%	
3	リアル販路計	22,234	22,308	△74	△0.3%	16,635	9,320	+7,315	+78.5%	38,869	31,628	+7,241	+22.9%
	構成比	72.2%	73.1%	△0.9%		73.7%	69.4%	+4.4%		72.9%	72.0%	+0.9%	
4	他社EC	1,370	1,196	+174	+14.5%	1,705	614	+1,091	+177.7%	3,075	1,810	+1,265	+69.9%
	構成比	4.4%	3.9%	+0.5%		7.6%	4.6%	+3.0%		5.8%	4.1%	+1.6%	
5	自社EC	7,190	7,019	+171	+2.4%	4,218	3,501	+717	+20.5%	11,408	10,520	+888	+8.4%
	構成比	23.3%	23.0%	+0.4%		18.7%	26.1%	△7.4%		21.4%	23.9%	△2.5%	
6	自社EC比率	84.0%	85.4%	△1.4%		71.2%	85.1%	△13.9%		78.8%	85.3%	△6.6%	
7	EC計	8,560	8,215	+345	+4.2%	5,923	4,115	+1,808	+43.9%	14,483	12,330	+2,153	+17.5%
	構成比	27.8%	26.9%	+0.9%		26.3%	30.6%	△4.4%		27.1%	28.0%	△0.9%	
8	売上高計	30,794	30,523	+271	+0.9%	22,558	13,435	+9,123	+67.9%	53,352	43,958	+9,394	+21.4%

※ECマースを運営している以下の国内事業会社8社

アイランド、ティアクラッセ、オンワードバーソナルスタイル、チャコット、クリエイティブヨーコ、大和、KOKOBUY、ウィゴー

Copyright © ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

11ページ、販路別売上高についてです。オレンジの囲いをご覧ください。リアル販路計では、前年同期比で22.9%の増収。「ウィゴー」を除く既存では2.1%の増収でした。EC計では17.5%の増収。「ウィゴー」を除く既存ECでは6%の増収でした。自社EC化率は78.8%。「ウィゴー」を除く既存ベースでは84.4%。全社売上に対するEC化率は27.1%。こちらも「ウィゴー」を除く既存ベースとしては28.8%となりました。



03

2025年度上期・通期
連結業績予想

2025年度 上期・通期

連結業績予想

ONWARD

■

上期売上高は、前年同期比で16.1%増収の1,104億円、営業利益は8.5%増益の57億円、当期純利益は9.5%増益の45億円を予想。（通期業績予想は期初予想から変更なし。）

	上期予想				通期予想			
	2025年度	2024年度	増減額	増減率	2025年度	2024年度	増減額	増減率
(百万円)								
1 売上高	110,400	95,102	+15,298	+16.1%	230,000	208,393	+21,607	+10.4%
2 売上総利益	61,700	52,709	+8,991	+17.1%	126,000	113,575	+12,425	+10.9%
(対売上高比率)	(55.9%)	(55.4%)		(+0.5%)	(54.8%)	(54.5%)		(+0.3%)
3 販管費	56,000	47,454	+8,546	+18.0%	114,500	103,422	+11,078	+10.7%
(対売上高比率)	(50.7%)	(49.9%)		(+0.8%)	(49.8%)	(49.6%)		(+0.2%)
4 営業利益	5,700	5,255	+445	+8.5%	11,500	10,153	+1,347	+13.3%
(対売上高比率)	(5.2%)	(5.5%)		(Δ 0.3%)	(5.0%)	(4.9%)		(+0.1%)
5 経常利益	5,500	5,213	+287	+5.5%	11,000	10,084	+916	+9.1%
(対売上高比率)	(5.0%)	(5.5%)		(Δ 0.5%)	(4.8%)	(4.8%)		(±0.0%)
6 当期純利益	4,500	4,108	+392	+9.5%	10,000	8,516	+1,484	+17.4%
(対売上高比率)	(4.1%)	(4.3%)		(Δ 0.2%)	(4.3%)	(4.1%)		(+0.2%)
7 EBITDA※	8,500	7,690	+810	+10.5%	17,000	15,452	+1,548	+10.0%
(対売上高比率)	(7.7%)	(8.1%)		(Δ 0.4%)	(7.4%)	(7.4%)		(±0.0%)

※ EBITDA = 営業利益+減価償却費等

Copyright © ONWARD HOLDINGS CO., LTD.

13

13ページ、14ページは上期・通期業績予想になります。

1Qの実績を考慮いたしまして、上期・通期業績予想については据え置きとさせていただきます。

2025年度 上期・通期 主要事業会社別予想



		上期予想				通期予想			
	(百万円)	2025年度	2024年度	増減額	増減率	2025年度	2024年度	増減額	増減率
1	オンワード樫山+HD	売上高 55,000 営業利益 3,000	54,722 2,938	+278 +62	+0.5% +2.1%	116,500 7,600	113,613 7,190	+2,887 +410	+2.5% +5.7%
2	オンワード パーソナルスタイル	売上高 3,630 営業利益 10	3,051 △ 38	+579 +48	+19.0% ✕	7,550 140	6,215 18	+1,335 +122	+21.5% +677.8%
3	ウィゴー	売上高 12,800 営業利益 450	- -	- -	- -	26,300 500	12,828 123	+13,472 +377	+105.0% +306.5%
4	オンワード コーポレートデザイン	売上高 9,100 営業利益 1,000	8,952 990	+148 +10	+1.7% +1.0%	18,700 1,750	18,452 1,726	+248 +24	+1.3% +1.4%
5	チャコット	売上高 5,800 営業利益 660	5,358 645	+442 +15	+8.2% +2.3%	11,000 860	10,169 845	+831 +15	+8.2% +1.8%
6	クリエイティブヨーコ	売上高 3,420 営業利益 320	3,140 303	+280 +17	+8.9% +5.6%	7,450 850	6,798 821	+652 +29	+9.6% +3.5%
7	大和	売上高 11,810 営業利益 1,160	10,108 795	+1,702 +365	+16.8% +45.9%	23,700 1,640	20,832 1,234	+2,868 +406	+13.8% +32.9%
8	国内グループ会社小計 (オンワード樫山+HD除く)	売上高 52,140 営業利益 4,030	35,959 3,159	+16,181 +871	+45.0% +27.6%	105,980 6,440	86,123 5,431	+19,857 +1,009	+23.1% +18.6%
9	ヨーロッパ計	売上高 6,200 営業利益 △ 240	6,116 △ 259	+84 +19	+1.4% ✕	13,800 300	12,407 173	+1,393 +127	+11.2% +73.4%
10	アメリカ計	売上高 740 営業利益 △ 50	1,153 △ 175	△ 413 +125	△ 35.8% ✕	1,900 △ 60	2,374 △ 379	△ 474 +319	△ 20.0% ✕
11	アジア計	売上高 3,750 営業利益 130	3,613 120	+137 +10	+3.8% +8.3%	7,700 140	7,047 91	+653 +49	+9.3% +53.8%
12	海外グループ会社小計	売上高 10,690 営業利益 △ 160	10,882 △ 314	△ 192 +154	△ 1.8% ✕	23,400 380	21,828 △ 115	+1,572 +495	+7.2% ✕
13	連結合計	売上高 110,400 営業利益 5,700	95,102 5,255	+15,298 +445	+16.1% +8.5%	230,000 11,500	208,393 10,153	+21,607 +1,347	+10.4% +13.3%

※グループの内訳は単純合算 連結合計には相殺消去含む

14ページをご覧ください。

「オンワード樫山」につきましては通期売上で29億円、営業利益4億円。売上で2.5%、営業利益で5.7%の増益を計画しております。国内グループ会社小計としては、「ウィゴー」社も含めて約200億円、営業利益で10億円。売上高で23.1%の増収、営業利益で18.6%の増益。海外グループ会社小計としては、売上で16億円、営業利益で約5億円。売上高では7.2%の増収、営業利益としては赤字から黒字への転換を計画しております。その結果としては、通期2,300億円の売上で、216億円の増収で10.4%。営業利益については115億円、13億円の増益で13.3%となっています。

以上、ご説明を終えさせていただきます。



04

Appendix

2025年度 第1四半期 連結販管費

ONWARD

				ウィゴ-社除く	
(百万円)		2025年度1Q	2024年度1Q	増減率	
1	人件費	10,438	8,775	+19.0%	9,118 +3.9%
2	賃借料	8,344	6,998	+19.2%	6,921 △ 1.1%
3	運賃運搬費	1,916	1,618	+18.4%	1,725 +6.6%
4	広告宣伝費	2,281	1,667	+36.8%	2,002 +20.1%
5	減価償却費	918	779	+17.8%	842 +8.1%
6	その他	5,057	4,233	+19.5%	4,476 +5.7%
7	販管費計	28,954	24,070	+20.3%	25,084 +4.2%

【増減要因】

- 人件費 … 賃金アップ等の人的資本投資強化による増加
- 賃借料 … 流通経路の構成比の変化や店舗運営効率の改善による減少
- 運賃運搬費 … EC売上、カタログギフト販売の増加等に伴う配送料の増加
- 広告宣伝費 … プロモーション施策やデジタル広告施策など積極投資による増加
- 減価償却費 … DX関連投資による償却費の増加

2025年度 第1四半期 当期純利益影響項目

ONWARD

	(百万円)	2025年度1Q	2024年度1Q	増減率
1	営業利益	5,353	5,074	+5.5%
2	営業外収益	146	302	△ 51.7%
3	受取利息・配当金	18	66	△ 72.7%
4	為替差益		71	-
5	持分法による投資利益	3	131	△ 97.7%
6	その他	125	34	+267.6%
7	営業外費用	282	181	+55.8%
8	支払利息	127	83	+53.0%
9	為替差損	73		-
10	その他	82	98	△ 16.3%
11	営業外損益計	△136	121	-
12	経常利益	5,217	5,195	+0.4%
13	特別利益		944	-
14	固定資産売却益		944	-
15	特別損失	310	1,482	△ 79.1%
16	減損損失	293	31	+845.2%
17	関係会社整理損		1,445	-
18	その他	17	6	+183.3%
19	特別損益	△310	△538	-
20	税前利益	4,907	4,657	+5.4%
21	法人税等	636	576	+10.4%
22	少数株主損益		62	-
23	当期純利益	4,271	4,019	+6.3%

【 当期純利益影響項目 】

- 営業外収益は、ウィゴーが持分法対象企業ではなくなったことによる「持分法による投資利益」の減少等により1.5億円の減少。
- 営業外費用は、為替差損の計上や金利上昇に伴う支払利息の増加等により、1億円の増加。
- 以上の結果、経常利益は前年同期比+0.4%増の52億円となった。
- 特別損益は、前年同期から約2億円の改善。
- 以上の結果、当期純利益は前年同期比6.3%増の43億円となった。

2025年度 第1四半期 連結貸借対照表

	(億円)	2025年度1Q末	2024年度末	前期末比±
1	資産合計	1,807	1,792	+15
2	流動資産	811	801	+10
3	現金及び預金	103	135	△ 32
4	売掛金	182	159	+23
5	棚卸資産	475	458	+17
6	固定資産	996	991	+5
7	有形固定資産	479	476	+3
8	無形固定資産	125	128	△ 3
9	投資その他の資産	391	385	+6
10	負債合計	963	949	+14
11	買掛金	250	197	+53
12	借入金	437	485	△ 48
13	その他	276	267	+9
14	純資産合計	844	842	+2
15	自己資本比率	46.7%	47.0%	△ 0.3%
16	流動比率	124.6%	127.7%	△ 3.1%

- 棚卸資産
ウィゴ-の仕入強化等による増加。
- 買掛金
支払いサイトの短縮化による一時的な増加。
- 借入金
返済による減少。
- 自己資本比率
自己資本比率46.7%。前年度末より0.3%減少。

2025年度 第1四半期 キャッシュ・フロー/設備投資/減価償却費

■ キャッシュ・フロー

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前利益、および仕入債務の増加等により62億円の収入。
- 投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得等により8億円の支出。
- 財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の減少および配当金の支払い等の結果、84億円の支出。

■ 設備投資

- 設備投資額は、前期と同水準の18億円。
- DX関連や出店関連など投資を厳選し、効率的に実施。

(百万円)

2025年度1Q	2024年度1Q	増減	増減率
1,800	1,848	△ 48	△ 2.6%

■ 減価償却費

- 減価償却費は、前期取得した大型DX投資等により、前期から1億円増加の11億円。

(百万円)

2025年度1Q	2024年度1Q	増減	増減率
1,060	964	+96	+10.0%

2025年度 第1四半期 セグメント別実績

ONWARD

		1Q実績				
(百万円)		2025年度	2024年度	増減額	増減率	
オンワード +HD +山	1	売上高	30,794	30,523	+271	+0.9%
	2	売上総利益 (対売上高比率)	18,494 (60.1%)	18,134 (59.4%)	+360	+2.0% (+0.7%)
	3	販管費 (対売上高比率)	15,396 (50.0%)	14,747 (48.3%)	+649	+4.4% (+1.7%)
	4	営業利益 (対売上高比率)	3,098 (10.1%)	3,387 (11.1%)	△ 289	△ 8.5% (△ 1.0%)
国内グループ +山+小計	5	売上高	28,754	19,433	+9,321	+48.0%
	6	売上総利益 (対売上高比率)	14,856 (51.7%)	9,711 (50.0%)	+5,145	+53.0% (+1.7%)
	7	販管費 (対売上高比率)	11,974 (41.6%)	7,538 (38.8%)	+4,436	+58.8% (+2.8%)
	8	営業利益 (対売上高比率)	2,882 (10.0%)	2,173 (11.2%)	+709	+32.6% (△ 1.2%)
海外グループ +小計	9	売上高	4,549	4,795	△ 246	△ 5.1%
	10	売上総利益 (対売上高比率)	1,938 (42.6%)	2,150 (44.8%)	△ 212	△ 9.9% (△ 2.2%)
	11	販管費 (対売上高比率)	2,267 (49.8%)	2,514 (52.4%)	△ 247	△ 9.8% (△ 2.6%)
	12	営業利益 (対売上高比率)	△ 329 -	△ 364 -	+35	↗

2025年度 上期・通期 セグメント別予想



		(百万円)	上期予想				下期予想				通期予想			
			2025年度	2024年度	増減額	増減率	2025年度	2024年度	増減額	増減率	2025年度	2024年度	増減額	増減率
オンワード + H D + 山	1	売上高	55,000	54,722	+278	+0.5%	61,500	58,891	+2,609	+4.4%	116,500	113,613	+2,887	+2.5%
	2	売上総利益 (対売上高比率)	32,400 (58.9%)	31,898 (58.3%)	+502 (+0.6%)	+1.6%	34,550 (56.2%)	33,413 (56.7%)	+1,137 (△ 0.5%)	+3.4%	66,950 (57.5%)	65,311 (57.5%)	+1,639 (△ 0.0%)	+2.5%
	3	販管費 (対売上高比率)	29,400 (53.5%)	28,960 (52.9%)	+440 (+0.6%)	+1.5%	29,950 (48.7%)	29,161 (49.5%)	+789 (△ 0.8%)	+2.7%	59,350 (50.9%)	58,121 (51.2%)	+1,229 (△ 0.3%)	+2.1%
	4	営業利益 (対売上高比率)	3,000 (5.5%)	2,938 (5.4%)	+62 (+0.1%)	+2.1%	4,600 (7.5%)	4,252 (7.2%)	+348 (+0.3%)	+8.2%	7,600 (6.5%)	7,190 (6.3%)	+410 (+0.2%)	+5.7%
国内グループ + 山 + 小計	5	売上高	52,140	35,959	+16,181	+45.0%	53,840	50,164	+3,676	+7.3%	105,980	86,123	+19,857	+23.1%
	6	売上総利益 (対売上高比率)	27,140 (52.1%)	18,051 (50.2%)	+9,089 (+1.9%)	+50.4%	26,000 (48.3%)	24,337 (48.5%)	+1,663 (△ 0.2%)	+6.8%	53,140 (50.1%)	42,388 (49.2%)	+10,752 (+0.9%)	+25.4%
	7	販管費 (対売上高比率)	23,110 (44.3%)	14,892 (41.4%)	+8,218 (+2.9%)	+55.2%	23,590 (43.8%)	22,065 (44.0%)	+1,525 (△ 0.2%)	+6.9%	46,700 (44.1%)	36,957 (42.9%)	+9,743 (+1.2%)	+26.4%
	8	営業利益 (対売上高比率)	4,030 (7.7%)	3,159 (8.8%)	+871 (△ 1.1%)	+27.6%	2,410 (4.5%)	2,272 (4.5%)	+138 (+0.0%)	+6.1%	6,440 (6.1%)	5,431 (6.3%)	+1,009 (△ 0.2%)	+18.6%
海外グループ + 小計	9	売上高	10,690	10,882	△ 192	△ 1.8%	12,710	10,946	+1,764	+16.1%	23,400	21,828	+1,572	+7.2%
	10	売上総利益 (対売上高比率)	4,500 (42.1%)	4,718 (43.4%)	△ 218 (△ 1.3%)	△ 4.6%	5,920 (46.6%)	5,229 (47.8%)	+691 (△ 1.2%)	+13.2%	10,420 (44.5%)	9,947 (45.6%)	+473 (△ 1.1%)	+4.8%
	11	販管費 (対売上高比率)	4,660 (43.6%)	5,032 (46.2%)	△ 372 (△ 2.6%)	△ 7.4%	5,380 (42.3%)	5,030 (46.0%)	+350 (△ 3.7%)	+7.0%	10,040 (42.9%)	10,062 (46.1%)	△ 22 (△ 3.2%)	△ 0.2%
	12	営業利益 (対売上高比率)	△ 160 (-)	△ 314 (-)	+154 (+)	↗	540 (4.2%)	199 (1.8%)	+341 (+2.4%)	+171.4%	380 (1.6%)	△ 115 (-)	+495 (+)	↗



本資料のいかなる情報も、弊社株式の購入や売却などを勧誘するものではありません。
また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点での弊社の判断であり、
その情報の正確性を保証するものではなく、今後予告なしに変更されることがあります。
この情報に基づいて被ったいかなる損害についても、弊社および情報提供者は
一切責任を負いませんのでご承知おきください。